



秋田大学教育文化学部附属小学校 校報

はとの子だより

No.4 令和5年6月1日(木)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

虹色の翼を広げて再出発！～はとの子運動会～

幾多の規制が解除されてから初めてとなる「はとの子運動会」が、好天のもと開催されました。みんながそろって始めて、みんながそろって終わる運動会は、本当に久しぶりです。

企画委員会の子どもたちが考えた今年のテーマは「虹色の翼」。はとの子一人一人がそれぞれの力を発揮し、その力が結集することにより、全ての子どもたちの翼が虹色の輝きを増していったほしい、という願いを込めたテーマです。



子どもたちはテーマにある「翼」を、どのようにイメージしていたでしょう。

澤口瑛心さんによる選手宣誓から、その一例をうかがい知ることができます。宣誓の中に、次のような一節がありました。

粘り強く最後までゴールを目指す自分、限界に挑戦する自分、仲間と力を合わせて同じ目標を目指す自分。

また、炎のように燃え上がり全力を尽くして（紅組：武藤章就さん）、光のように輝き一番星を目指して（黄色：米村琥太郎さん）、海のように広い心となって仲間を応援する（青組：安藤照瑛さん）、と各色の代表が表明した決意からも、「翼」のイメージが伝わってきました。

児童代表の挨拶を務めた細谷杏莉さんからは、お家の方々や地域のみなさんからの応援への感謝の気持ちを大切にするという話もありました。

学校を代表する6年生が、それぞれに「虹色の翼」を表現してくれたことで、全校があるべき姿、あってほしい姿を体現した運動会になりました。



特に今回は、2学年ペアによる趣向種目を、4・5・6年生が企画・提案して実施するという新たな試みが、目玉のひとつとなっていました。

みんなの力をひとつにして、学年を超えて協力し、楽しく安全に競い合うことができるように、子どもたちみんなが真剣に考え、話し合い、幾度となく試行錯誤を繰り返して実現した種目です。この趣向種目の実施を通して、上学年の子どもたちに対する、下学年の子どもたちの感謝と尊敬の念が、一層高まったのではないかと感じました。

趣向種目の最後を飾った1年生と6年生の綱引き対決では、各色の1年生と6年生が円陣を組んで団結を深める姿が見られました。1年生が5年後に最上級生になったとき、この体験を思い出し、生かしてくれたら…と願わずにはいられませんでした。



最後まで子どもたちに熱い声援を送ってくださった保護者の皆様、地域の皆様に、改めて御礼申し上げます。

附属小学校は149歳の誕生日を迎えました

本日6月1日は、学校の創立記念日です。明治7年に開校以来、自主自律の精神を一貫して大切にする教育を提供し、秋田県内外に優れた教育実践を発信していくことを使命として、伝統を守り抜いてきました。

創立74年目の昭和23年に秋田師範学校附属小学校と改称したことをきっかけに制定された「校章」は、平和と文化の使徒であり先達たるべき「はと」が、精いっぱい目標に向かって舞い上がり、大空をかけてはばたく姿を、本校で成長していく子どもたちに重ねたものです。

来年は、いよいよ150歳という大きな節目の誕生日を迎える本校ですが、常に時代の潮流を先取りし、挑戦する心を忘れずに、質の高い教育を具現することができるよう、邁進していく所存です。

今日は、各家庭でも学校の誕生日を祝いながら、話題にさせていただきたいと思います。

今後とも、本校の教育方針に対するご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

ウィーン少年合唱団との共演

本校の合唱部が、5月24日にあきた芸術劇場ミルハスで開催されたウィーン少年合唱団の公演にゲスト出演し、合同合唱に参加しました。

世界各国で経験を積んできた合唱団の声に圧倒された子どもたちが多かったようですが、この経験が、更にひと回り大きく成長するきっかけにもなったことと思います。

合唱部の今後の活躍にご期待ください。